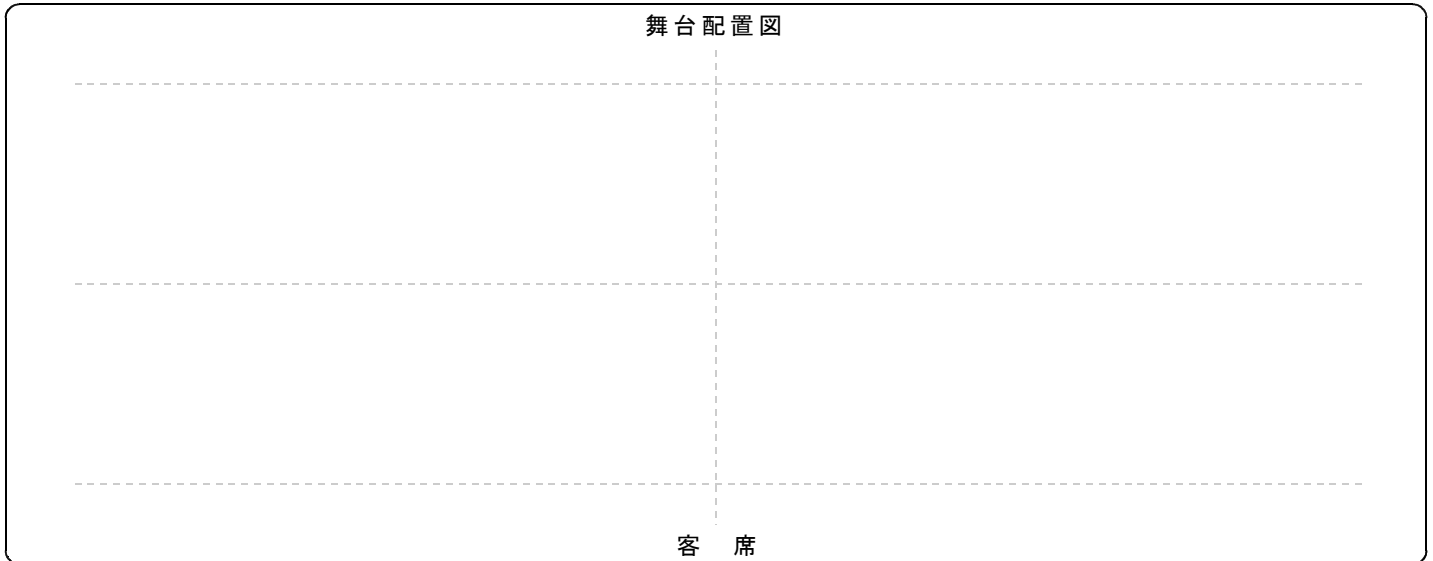


No.	<b>華</b>	演奏者数	演奏時間
-----	----------	------	------



客 席

表示記号一覧	一 箏	=17絃	+三絃	0 尺八	≠ 他楽器	*マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハンター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

<b>調絃表</b>	ピッチ A=44		編成：箏							尺八			
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾
箏				C					C				C
				B					B				B
	D	G	A	A#	D	E	G	A	A#	D	E	G	A
尺八					D#	F#				D#	F#		
一尺八寸管 □ = D = 箏の五													

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1976年 委嘱者 倉内里仁 構成 箏・尺八 時間 11分 出版楽譜 ミュージックエス

解説 題名の「華」が表しておりますように、作品全体が華やかな雰囲気終始するといったもので、一貫して明るさに溢れております。技法的にはかなり難しいと言えるかもしれません。途中にある拍節感の無い、箏と尺八の対話といった部分や、かなり無理とも言える転調を敢えて採り入れていることが、この曲に、より一層華やかな雰囲気を与えているのではないかと思います。1976年6月作曲。[作曲者]

収録媒体 箏 沢井忠夫作品集5 (VZCG-582) 邦楽演奏家Best Take 沢井忠夫 (VZCG-120)